

# いきものみっけ

News.  
Vol.16

発行：いきものみっけファーム滋賀推進協議会  
電話：090-7966-2262 FAX：0748-68-0598

編集：事務局 竜王 住所：甲賀市土山町黒川  
E-mail:ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp 平成27年9月20日発



5月の田植の時には青々としていた稻の苗の葉が4ヶ月もたつとこんなに穂をつけて鮮やかなる黄色に輝きまばゆいくらいです。去る九月十三日に、いきものみっけ寺子屋としての稻刈りを致しました。今年の田んぼは、10年ほどの休耕田をいきものみっけ

## 実りの秋、ザクザク 寺子屋・稻刈り体験

親子十八組とボ

そのために、穂になるか心配していたのですが、良かった、しっかりと実「米」が詰まっている。水管理のかっちゃんに感謝です。朝から、パラパラと降った雨も

寺子屋用に、地域のかっちゃん

「オーナー」が小さく作ってくれましたもので、肥料も入れていません。

を指導を受けました。

### 葉が黄色くなるわけ

なぜ、稻が熟してくる葉が黄色くなるか？  
モミが黄色くなるのは、モミが枯れなくなんだ。  
葉が黄色くなるのは、葉の中の葉緑素が死んでいき、葉の中の養分が米に流れてしまつてなくなるからなんだんだんだん、穂の重さが増えて、穂が曲がって垂れていく。そろそろ稻刈りの時期になるんだ。

でもが熟しすぎて、“米の胴割れ”になってしまい、お米にツヤがなくなった。80%くらい熟れたときに、刈り取りがいいんだ。  
もちろん、根はしっかりと生きているよ。

### どうしてお米を干して、乾燥させるの？

刈り取ったばかりの米は水分が多くて、そのままにしておくと腐ってくる。刈り取りときの稻穂の水分は23%~28%くらいが普通だが、18%位にならないとそのまま保存するわけにはいかない、天気が良くて風とおしが良ければ、架け干して1日に1%近く乾燥するんだ。

出典:いのちが集まる・いのちが育む「たんぼの学校」入学編 宇根豊 著 農文協出版

これが難しい。小さな子どもの手には余るくらいの1株をしっかりとザクザク刈り取る子ども、お百姓さんたちの指導の元くる大人、ハサにかける子どもの分担であつたいう間に、ハサは稻束で満杯になりました。天気も回復して、秋空の元のハサかけの田舎風景は絵になります。



鎌を持たせて  
子どもが一生懸命で  
きた姿がびっくり



稻刈りを手でする  
手間を実感。昔の人  
は大変だったんだ



[表からの続き]  
が、その時、ハサが倒れてしまう  
という惨事が……

## あ～〔涙〕

これを見ていたみんな「あ～あ。」  
としか言いようがない、一気に  
ハサからの稻束の撤去作業。そ  
してここで、力を発揮いただい  
たのが、少し古老のおじさんた  
ち。家からしつかりした杭を持参  
いただき[さすが、田舎の家には  
杭がある]

## ハサが倒れた

ことであつたために、場所を移動  
して、午後から予定のいきもの  
観察になりました。

## コンバインに みとれてしまふ

いつもの水田では、コンバイン  
による稻刈りが行われていまし  
た。  
「機械でしたらあ～というまなん  
だな。。。」「手でするってたいへ  
んなことなんだ」  
「コンバイン一台一五〇〇万円  
～～うつそ～～」  
コンバインで刈られる稻、同時  
に脱穀されて煙突のような筒か  
らお米が出てきている様子に見  
とれながら観察会。



## 秋のいきもの みつけ〔観察会〕

ヌマツ、  
タカハヤ、  
サワガニ、  
シマドジョウ、  
ウ、オカハラ  
イモリ、  
トノサマガエル、  
カタツムリ、  
イナゴ〔稻〕

虫たちに取つたら、稻刈り軍団や  
コンバインは、自分たちの住処  
への襲来かもしれませんね。



## 新米おむすび ありがとう

修繕されたハサかけだ。責任感  
の強い子どもたちは、大人の手  
も借りずにあ～という間にすべ  
ての稻束をハサにかけてくれま  
した。

そして、稻束から落ちこちた穂が  
田んぼに落ちています。  
「もたいいない」はい、ミレーの「落  
ち穂拾い」じゃないけど「寺子屋  
の落ち穂拾い」・お疲れ様。



3、4本の青い苗がお米になっ  
て私たちが食べられるのは、かっ  
ちゃんのお世話はもちろん、お  
日様、水、土、そして生きものたち  
がいてくれたからなんですね。  
刈り取った稻とおにぎりの関  
係も勉強して“いのち”をいただ  
きました。

お腹がいっぱいになつたら、もう  
一仕事。

